

平成16年3月期 第3四半期 (15.10~15.12) 連結決算参考資料

()内は、前年同期比増減率

	前年同期実績 (14.10~14.12)	当第3四半期実績 (15.10~15.12)	当期予想 (15.4~16.3)
販売台数	1,544千台	1,700千台 (10.1%)	6,650千台
売上高	40,526 億円	43,860 億円 (8.2%)	
営業利益	3,612	4,016 (11.2%)	
<利益率>	<8.9%>	<9.2%>	
税金等調整前当期純利益	3,001	4,297 (43.2%)	
<利益率>	<7.4%>	<9.8%>	
当期純利益	1,793	2,864 (59.7%)	
<利益率>	<4.4%>	<6.5%>	
増減益要因 <営業利益>		営業利益は、404億円の増益 (増益要因) 億円 ・営業面の努力 1,000 ・原価改善の努力 600 (減益要因) 億円 ・為替変動の影響 800 ・労務費および経費の増加ほか 396	
為替レートの	123円/\$ 123円/ユーロ	109円/\$ 130円/ユーロ	
設備投資 (除くリース用資産)	2,055 億円	1,969 億円	9,500 億円
減価償却費	1,780	1,805	7,700
業績評価		増収増益	

(注) 当期より、当社の連結財務諸表は、米国会計基準により作成しています。
また、前年同期の連結財務諸表についても米国会計基準による数値を記載しています。

【注意事項】

上記の「当期予想」に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素としては、主に以下のようなものがあります。

- ・主要市場における経済情勢および需要の変動
- ・為替相場の変動(主に円/米ドル相場、円/ユーロ相場)
- ・原価低減や設備投資を計画通り実施する当社および連結子会社の能力
- ・主要市場における貿易規制、および環境保全、自動車排ガス、燃費効率、安全性等に関する各種法律、規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・適宜、新製品を開発し市場へ投入する当社および連結子会社の能力
- ・当社および連結子会社が事業活動を行う上で生じる当社および連結子会社の責に帰すことのできない様々な障害